

ウクライナのための祈りについて

2月27日（日）にカンタベリー大主教とヨーク大主教から、ウクライナとロシアのために、そして平和のために祈るようにキリスト者に呼びかけられました。また3月2日の「灰の水曜日」には、フランシスコ教皇が「世界平和祈願・断食の日」を守るように呼びかけています。Thy Kingdom Comeのホームページや英国聖公会のホームページでも、世界の平和のための祈りへの参加が呼びかけられています。

また、WCCやNCCでも声明が発信され、祈りの呼びかけがなされています。

以下に、カンタベリー大主教とヨーク大主教の連名で作成された祈りの日本語訳をお届けいたしますので、大斎始日の礼拝や主日の礼拝の中で用いてくだされば幸いです。

正義と平和委員長 主教 上原榮正
管区事務所宣教主事 司祭 卓 志雄

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、み旨に適う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,

we pray for the people of Ukraine today.

We pray for peace and the laying down of weapons.

We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.

We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.

Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.

We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.

Amen.

Archbishop Justin Welby

Archbishop Stephen Cottrell